



# Risk Flash No.245 (Vol.7 No.5)

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター  
発行責任者：リスク研究センター長 吉田裕司

- 第3回リスク研究センター主催セミナー(中島賢太郎氏・東北大学)：石井利江子・・・Page 1-2
- 次回リスク研究センター主催セミナーのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・Page 3
- 滋賀大学ビジネスイノベーションスクール」受講生募集のお知らせ・・・・・・・・・・Page 4

## 第3回リスク研究センター主催セミナー(中島賢太郎氏・東北大学大学院)

### リスク研究センター ミクロ経済学セミナー

日時：平成28年7月21日(木) 14:00-15:00  
 場所：土魂商才館 セミナー室I (大)  
 講師：中島賢太郎 准教授(東北大学大学院 経済学研究科)  
 演題：「Identifying Neighborhood Spillover Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market (with Kensuke Teshima)」  
 - 企業の近隣波及効果の識別：東京築地魚市場の売り場割り当てからのエビデンス -

### 【講師紹介】

1979年 生まれ  
 2003年3月 東京大学経済学部 卒業  
 2008年3月 東京大学大学院経済学研究科博士課程 修了  
 2008年4月 東北大学大学院経済学研究科七十七銀行寄附講座 准教授  
 2010年4月 一橋大学経済研究所附属経済制度研究センター 准教授  
 2011年4月 東北大学大学院経済学研究科 准教授

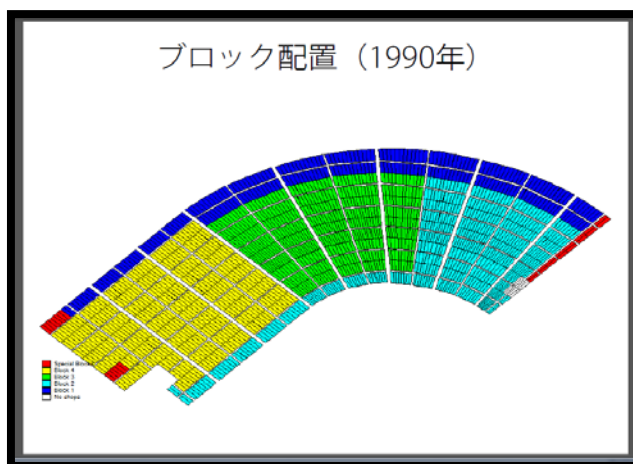
### 【講演概要】

企業集積が形成される要因を探るのは、都市経済学の大きな研究テーマである。その要因の一つとして挙げられるのが、企業間の生産性の波及である。生産性の波及効果の計測は、一般に容易ではない。なぜならば、企業は自分で立地を選択するので、ある場所に業績の良い企業が集まっていたとしても、それが企業間の波及効果によるものなのか、立地条件が良いせいなのか特定できないためである。

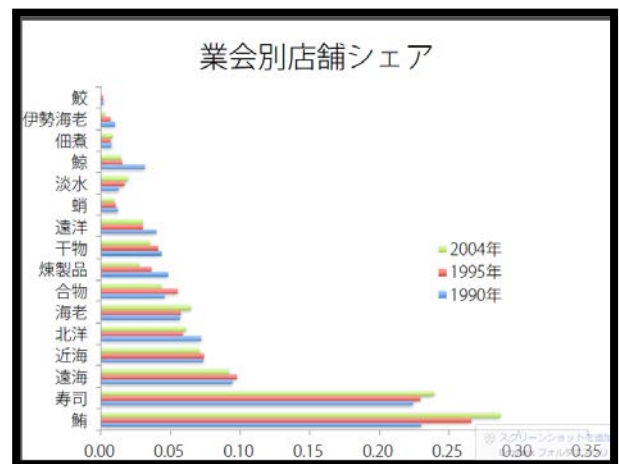


中島氏らの研究は、企業の立地がランダムに決まるという世界的にも特殊な状況を用いて、波及効果の大きさを計測するという画期的なアイデアに基づくものである。中島氏らの着目した築地市場では、仲卸業者の店舗の配置が数年に一度、くじで決まる。店舗の場所がくじによってランダムに決まるのであれば、前述の問題が回避され、店舗間の生産性の波及効果がシンプルな手法で計測できる。

配置図 (スライドより転載)



業界別の棒グラフ (スライドより転載)



このようなデータを用いて分析を行った結果、ある仲卸業者の近くに大手の業者が立地したり、また、多様な専門業者が立地したりすると、その業者に正の効果（店舗数の拡大など）が現れることが明らかになった。中島氏らのインタビューや調査によると、仲卸業者は近隣との関係を重視し、すぐれたノウハウを教えあったりまねし合ったりする。そのようなやりとりを通じた生産性の波及効果が、データにも現れている。同氏らは、今後商業統計を入手することによって、各業者の売り上げなどさらに詳細なデータを盛り込んだ分析を試みることを計画しており、いっそう刺激的な研究となることを見込まれる。当日は活発な意見交換が行われ、大変充実したセミナーとなった。



(文責：経済学科准教授 石井利江子)

## 次回リスク研究センター主催セミナーのお知らせ

平成 28 年 9 月 21 日 (木) リスク研究センターでは、同志社大学より中谷内一也教授をお迎えして、第 4 回リスク研究センター主催「社会心理学先端研究セミナー」を開催する予定です。

### 第 5 回 リスク研究センター主催 社会心理学先端研究セミナー

日 時：平成 28 年 9 月 21 日(木) 16:00~17:00

会 場：滋賀大学彦根キャンパス セミナー室 I (大) (土魂商才館 3F)

演 題：『東日本大震災後のリスク認知と信頼の変化』

講 師：中谷内 一也氏 (同志社大学 心理学部教授/心理学部長)

◆学内・学外を問わず参加を歓迎します。参加ご希望の方は、下記 HP 内の申し込みフォームをご利用ください。<http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/5/13:4>

滋賀大学リスク研究センターが主催する研究  
セミナーの第 4 弾として、社会心理学を取り上げます。

そこで今回、同志社大学 心理学部より、  
なかやち かずや  
中谷内 一也 教授をお招きして、「東日本大震災  
後のリスク認知と信頼の変化」と題した先端研究セ  
ミナーを開催いたします。

なかやち かずや  
講師 中谷内 一也 氏  
(同志社大学 心理学部 教授/心理学部長)

#### 講師紹介

1962 年、大阪生まれ。同志社大学卒業。同大学院の心理学専攻を単位取得退学後、日本学術振興会特別研究員、静岡県立大学、帝塚山大学を経て現在、同志社大学心理学部教授。専門は社会心理学で、とくに、人々の直感的なリスク認知や防災行動、信頼の問題について研究を進めている。

近著として『信頼学の教室(講談社現代新書、2015 年)』、『リスク(翻訳:丸善サイエンス・ノレットシリーズ、2015 年)』など。論文『The Unintended Effects of Risk-Refuting Information on Anxiety』が Risk Analysis 誌の 2013 年最優秀論文賞受賞。

#### 最近の主な研究の御実録

- ① Examining Public Trust in Risk-managing Organizations after a Major Disaster, Risk Analysis 35, 57-67, 2015.
- ② Public Anxiety after the 2011 Tohoku Earthquake: Fluctuations in Hazard Perception after Catastrophe (with H. M. Yokoyama & S. Okajima), Journal of Risk Research 18, 156-169, 2015.
- ③ Toward Mitigating Actions: Risk Communication Regarding Natural Disaster, Journal of Disaster Research 9, 638-643, 2014.
- ④ The Unintended Effects of Risk-refuting Information on Anxiety, Risk Analysis 33, 80-91, 2013 (Best Paper for 2013 in Risk Analysis).

第四回リスク研究センター主催 社会心理学先端研究セミナー  
『東日本大震災後のリスク認知と信頼の変化』

著作権者: Freepik.com 氏

日時 平成 28 年 9 月 21 日(水) 16:00~17:00

会場・申込 滋賀大学彦根キャンパス セミナー室(大) 土魂商才館 3F  
リスク研 HP → セミナー講演会一覽 より申込可となっております。

主催: 滋賀大学経済学部附属リスク研究センター

## 「滋賀大学ビジネスイノベーションスクール」受講生募集のお知らせ

次世代経営層や新事業担当者等の事業創造力を育成！

「滋賀大学ビジネスイノベーションスクール」受講生募集

滋賀県は大手製造業の研究所やマザー工場が集積し日本を代表する工業県ですが、近年グローバル化の影響で製造業の売上高、雇用は減少を続けています。政府も地方創生を掲げ強力な支援をしていますが、今後は、本業を維持強化するとともに、地域資源を活用して新たに成長が見込める新しいビジネス（生活文化、環境、農業、余暇、福祉医療、教育、都市開発等）を創出することが不可欠です。新しいビジネスは、新たな発想や生活者の深い理解から事業機会を発見し、異業種の既存要素も組み合わせながら、ビジネスモデルを構築していくことが重要です。

本スクールは、多様なメンバーとの相互交流と実践的なビジネスプランの策定を通じて、次世代経営者層や新事業担当者等の事業創造力を育成します。下記のとおり受講生を募集します。

日 時：2016年8月20日（土）～2017年1月7日（土）10:00～15:00 全14回

場 所：滋賀大学大津サテライトプラザ（JR大津駅前日本生命大津ビル4F）他

対 象：中堅中小企業の次世代経営者層（事業継承者等）、大手企業のマネージャー、将来起業を目指す学生等、新事業創造に強い関心を持っている方（グループでの参加も可能。）

参加費：8万円（税込）、学生免除

申込締切：8月6日（土）

主催：滋賀大学社会連携研究センター、協力：滋賀県

後援：（一社）滋賀経済産業協会、滋賀経済同友会、滋賀県産業支援プラザ、（株）しがぎん経済文化センター

問合せ：滋賀大学社会連携研究センター 畑中、石井 0749-27-1141

[http://www.shiga-u.ac.jp/research\\_cooperation/about\\_social\\_cooperation\\_research\\_center/industry\\_promotion\\_unit/research\\_ep/](http://www.shiga-u.ac.jp/research_cooperation/about_social_cooperation_research_center/industry_promotion_unit/research_ep/)

### 「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

#### 【サービスの提供】

1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

#### 【サービスの変更・中止・登録削除】

1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

#### 【個人情報等】

1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

#### 【免責事項】

1. 配信メールが回線上的問題（メールの遅延、消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

#### 【著作権】

1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変してblog等への掲載を希望される方は、事前に下記へお問い合わせください。

＊尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。

( <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/3:12> )

発行：滋賀大学経済学部 附属リスク研究センター

編集委員：吉田裕司、金秉基、石井利江子、近藤豊将、佐野洋史、  
竹村幸祐、藤井孝之、森宏一郎

事務補佐員：山崎真理

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局 (Office Hours:月一金 10:00-17:00)

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1 TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189

e-mail: [risk@biwako.shiga-u.ac.jp](mailto:risk@biwako.shiga-u.ac.jp)

Web page : <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2>